

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6445 URL <http://www.janome.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 道夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中坪 勝彦 (TEL) 042-661-3071  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,485	△0.2	343	△32.8	444	△4.1	341	49.3
29年3月期第1四半期	9,502	△2.8	511	176.9	463	90.4	228	214.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 480百万円( —%) 29年3月期第1四半期 △887百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.66	—
29年3月期第1四半期	11.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	51,448	24,198	45.4
29年3月期	52,052	23,941	44.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 23,370百万円 29年3月期 23,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	△0.6	1,000	△7.4	1,000	13.2	600	55.0	31.04
通期	40,000	2.9	2,700	9.0	2,600	21.6	1,800	12.0	93.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	19,521,444株	29年3月期	19,521,444株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	189,721株	29年3月期	189,721株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	19,331,723株	29年3月期1Q	19,331,730株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足情報 .....	12
(1) 所在地別セグメント情報 .....	12
(2) 海外売上高 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧米の政策動向への懸念や新興国経済の減速、中東及び朝鮮半島情勢の緊迫化といった地政学的リスクの高まり等、先行き不透明な状況が続きました。

わが国経済におきましては、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、実質賃金が伸び悩む中、個人消費に力強さが欠けました。また、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、下振れリスクは依然として残りました。

このような中、当社グループにおきましては中期経営計画のもと、組織の構造改革を通して、業務効率の向上と営業力の強化を図るとともに、徹底したコスト削減に努めました。

その結果、当第1四半期の総売上高は9,485百万円（前年同期比16百万円減）、営業利益は343百万円（前年同期比167百万円減）、経常利益は444百万円（前年同期比19百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は341百万円（前年同期比112百万円増）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

#### <家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、国内外ミシン市場での需要喚起に重点をおき、積極的な営業活動を展開いたしました。欧州においては、17カ国の販売子会社、代理店及びディーラーなどが参加した「第1回ジャノメ・ヨーロッパ・インスティテュート2017」を業界で初めて開催し、ブランド力の向上及び販売体制の更なる強化に努めました。

このほか、ロシア及び新興国ミシン市場で販売台数を伸ばしたことなどから、海外、国内を合わせたミシン販売台数は37万台（前年同期比1万台増）となりました。しかしながら、低価格機種の販売シェアが増加したことにより、売上高は6,959百万円（前年同期比340百万円減）、営業利益は164百万円（前年同期比227百万円減）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業におきましては、卓上ロボットはスマートフォンやタブレット等、情報端末機器関連企業からの受注を伸ばし、四半期ベースで過去最高の販売台数を記録いたしました。エレクトロプレスは自動車部品関連企業を中心に拡販に努め、販売は堅調に推移いたしました。ダイカスト casting 関連は既存顧客からのニーズに迅速に対応したことにより、ロボット部品や石膏 casting 製品の受注が増加いたしました。

以上の結果、売上高は1,814百万円（前年同期比289百万円増）、営業利益は149百万円（前年同期比53百万円増）となりました。

#### <その他事業>

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービスなどに、不動産賃貸収入を加えたその他事業の売上高は711百万円（前年同期比34百万円増）となり、一般管理費の削減等に努めた結果、営業利益は20百万円（前年同期比10百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は51,448百万円（前連結会計年度末比603百万円減）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少、仕掛品、原材料及び貯蔵品の増加等により23,412百万円（前連結会計年度末比348百万円減）となりました。固定資産は減価償却による減少等により28,036百万円（前連結会計年度末比254百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の減少等により18,529百万円（前連結会計年度末比594百万円減）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,719百万円（前連結会計年度末比265百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により24,198百万円（前連結会計年度末比256百万円増）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から852百万円減少し、5,811百万円（前年同期比510百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益446百万円、たな卸資産の増加228百万円、仕入債務の増加324百万円などによる資金の増減があり、745百万円の資金の増加（前年同期は899百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、機械・金型等の有形固定資産取得による支出103百万円などにより、35百万円の資金の減少（前年同期は101百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少1,322百万円などにより、1,527百万円の資金の減少（前年同期は231百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,195	6,402
受取手形及び売掛金	6,772	6,777
商品及び製品	5,849	5,799
仕掛品	568	770
原材料及び貯蔵品	2,511	2,650
その他	1,028	1,198
貸倒引当金	△165	△186
流動資産合計	23,761	23,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,403	6,331
土地	14,557	14,505
その他（純額）	2,325	2,282
有形固定資産合計	23,286	23,119
無形固定資産		
その他	1,308	1,248
無形固定資産合計	1,308	1,248
投資その他の資産	3,696	3,668
固定資産合計	28,291	28,036
資産合計	52,052	51,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,781	3,128
短期借入金	13,332	12,110
未払法人税等	215	89
賞与引当金	499	250
その他	2,294	2,950
流動負債合計	19,124	18,529
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,442	3,434
退職給付に係る負債	4,799	4,586
その他	744	698
固定負債合計	8,985	8,719
負債合計	28,110	27,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	6,158	6,324
自己株式	△325	△325
株主資本合計	17,206	17,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	164
土地再評価差額金	6,420	6,403
為替換算調整勘定	△205	△136
退職給付に係る調整累計額	△469	△432
その他の包括利益累計額合計	5,892	5,998
非支配株主持分	842	828
純資産合計	23,941	24,198
負債純資産合計	52,052	51,448

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,502	9,485
売上原価	5,289	5,614
売上総利益	4,213	3,871
販売費及び一般管理費	3,701	3,527
営業利益	511	343
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	28	39
為替差益	—	65
その他	20	25
営業外収益合計	54	136
営業外費用		
支払利息	36	26
為替差損	52	—
その他	13	9
営業外費用合計	102	35
経常利益	463	444
特別利益		
固定資産売却益	0	13
特別利益合計	0	13
特別損失		
固定資産除売却損	0	10
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	10
税金等調整前四半期純利益	457	446
法人税、住民税及び事業税	179	74
法人税等調整額	30	25
法人税等合計	210	99
四半期純利益	247	346
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	228	341



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	247	346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	18
為替換算調整勘定	△1,188	78
退職給付に係る調整額	70	36
その他の包括利益合計	△1,134	133
四半期包括利益	△887	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△839	464
非支配株主に係る四半期包括利益	△47	15

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	457	446
減価償却費	358	338
のれん償却額	36	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△58	△61
受取利息及び受取配当金	△34	△46
支払利息	36	26
売上債権の増減額(△は増加)	150	30
たな卸資産の増減額(△は増加)	△151	△228
仕入債務の増減額(△は減少)	△147	324
その他	521	95
小計	1,168	926
利息及び配当金の受取額	37	34
利息の支払額	△28	△23
法人税等の支払額	△277	△191
営業活動によるキャッシュ・フロー	899	745
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△0
定期預金の払戻による収入	—	42
有形固定資産の取得による支出	△92	△103
有形固定資産の売却による収入	2	68
無形固定資産の取得による支出	△16	△30
その他	6	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101	△35
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△185	△1,322
配当金の支払額	—	△149
その他	△45	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231	△1,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	△303	△34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	262	△852
現金及び現金同等物の期首残高	6,059	6,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,321	5,811

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,300	1,524	8,825	677	9,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	151	160	212	372
計	7,309	1,675	8,985	889	9,875
セグメント利益	391	96	487	10	497

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	487
「その他」の区分の利益	10
セグメント間取引消去	13
四半期連結損益計算書の営業利益	511

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,959	1,814	8,774	711	9,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	177	185	200	385
計	6,967	1,991	8,959	911	9,871
セグメント利益	164	149	313	20	333

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	313
「その他」の区分の利益	20
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	343

3. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,926	1,641	115	1,819	9,502	—	9,502
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,407	—	4,033	—	6,441	(6,441)	—
計	8,334	1,641	4,148	1,819	15,943	(6,441)	9,502
営業利益	133	66	404	40	644	(133)	511

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,528	1,254	128	1,575	9,485	—	9,485
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,205	—	3,463	0	4,668	(4,668)	—
計	7,733	1,254	3,591	1,575	14,154	(4,668)	9,485
営業利益	85	△35	64	28	141	201	343

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,668	2,074	2,506	6,248
II 連結売上高(百万円)				9,502
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.6	21.8	26.4	65.8

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,326	2,330	2,508	6,165
II 連結売上高(百万円)				9,485
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.0	24.6	26.4	65.0

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 欧州……イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米